

## 1. 略歴

1984年3月	東京大学文学部英語英文学専修課程卒業
1984年4月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程入学
1987年3月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程修了
1987年4月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程進学
1989年3月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程退学
1989年4月	実践女子大学文学部英文学科専任講師
1992年4月	東京大学教養学部助教授
1993年4月	東京大学大学院総合文化研究科専攻助教授
2004年4月	東京大学人文社会系研究科助教授 併任
2004年9月	東京大学人文社会系研究科助教授
2007年4月	東京大学人文社会系研究科准教授
2012年4月	東京大学人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

言語学、意味論、認知文法

### b 研究課題

文法の意味的基盤

認知文法の観点からさまざまな文法現象の意味的な基盤を明らかにすることを目標として研究を進めてきた。これまでに分析の対象にしてきた主な現象は、日英語の使役構文、項構造の交替、文法関係などである。近年は認知言語学の分野でその遍在性、重要性が新たに注目されている換喩 (metonymy) の本質を解明し、それに基づいて従来別々に扱われてきた多くの文法現象を統一的に把握し直すことを目指している。

### c 主要業績

#### (1) 著書

野矢茂樹氏との共著『言語学の教室—哲学者と学ぶ認知言語学』、中央公論新社、2013.6

#### (2) 学会発表

国内、西村義樹、「語彙、文法、好まれる言い回し：認知文法の視点」、日本エドワード・サピア協会第27回研究発表会、2012.10.27

国内、西村義樹、「英語学者」が認知言語学を研究するわけ」、日本フランス語学会シンポジウム「認知言語学の功罪」、国際基督教大学、2013.6.1

国内、西村義樹、「日英語のヴォイス現象:認知文法の視点」、日本英語学会第31回大会シンポジウム「ヴォイスの対照研究はどこまで進んだのか、そしてどこに向かうのか—研究史の再評価と今後の展望にむけて—」、2013.11.10

## 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

東京言語研究所理論言語学講座講師 2012.4～、

学習院大学非常勤講師 2012.4～

#### (2) 学会

日本言語学会、評議員 2012.4～、夏期講座委員 2012.4～、編集委員 2012.4～